

ちりょうないよう
◆治療内容について

① 大変満足 ② やや満足 ③ ふつう ④ やや不満足 ⑤ 不満足

りゆう (理由;)

ちりょう たい せつめいないよう
◆治療に対する説明内容について

① 大変満足 ② やや満足 ③ ふつう ④ やや不満足 ⑤ 不満足

りゆう (理由;)

しかいし しょくいん たいおう
◆歯科医師、職員の対応について

① 大変満足 ② やや満足 ③ ふつう ④ やや不満足 ⑤ 不満足

りゆう (理由;)

しかいん びょういん しせつ こうぞう かいだんなど せつび
◆歯科医院・病院の施設の構造(階段等)や設備について

① 大変満足 ② やや満足 ③ ふつう ④ やや不満足 ⑤ 不満足

りゆう (理由;)

ちりょう もう こ う けるままでの 期間
◆治療を申し込んでから受けるまでの期間について

① 大変満足 ② やや満足 ③ ふつう ④ やや不満足 ⑤ 不満足

りゆう (理由;)

とい しかちりよつ けいけん こに かに しつもんはこ
問5で歯科治療の経験が「②ある」と答えた方のみへの質問はこ
こで終わりです。

6. これまでに

り方

(発音)の指導を受けたことがありますか。受けた人はどこで受けましたか。

(1) 歯の健康診査 (あてはまるものすべて)

これまでの う けいけん 受けた経験	① ない ② ある →	*特に[この1年間] う で受けたことが	① ない ② ある
う ところ 受けた所 (あてはまる ものすべて)	① 歯科医院・病院の歯科 ② 保健所・市町村保健センター等 ③ 学校など ④ 通所施設 ⑤ 入所施設 ⑥ 自宅(訪問) ⑦ その他 ()		

(2) 歯ブラシの使い方などの指導 (あてはまるものすべて)

これまでの う けいけん 受けた経験	① ない ② ある →	*特に[この1年間] う で受けたことが	① ない ② ある
う ところ 受けた所 (あてはまる ものすべて)	① 歯科医院・病院の歯科 ② 保健所・市町村保健センター等 ③ 学校など ④ 通所施設 ⑤ 入所施設 ⑥ 自宅(訪問) ⑦ その他 ()		

(3) 噛み方、飲み込み方、しゃべり方(発音)の指導 (あてはまるものすべて)

これまでの う 受けた経験	① ない ② ある	とく *特に[この1年間] で受けたことが	① ない ② ある
う 受けた所 (あてはまる ものすべて)	① 歯科医院・病院の歯科 ③ 学校など ⑦ その他 (② 保健所・市町村保健センター等 ④ 通所施設 ⑤ 入所施設 ⑥ 自宅(訪問))	
どのよう な時 (あてはまる ものすべて)	① 虫歯の治療後 ④ 入れ歯を作った時	② 顎の痛み ⑤ 顎の骨折の治療後	③ 歯茎の病気の治療後 ⑥ その他 (

7. 入れ歯を使用していますか。使用している人はその取り外しや手入れについてお答えください。

入れ歯の 使用	① 使用していない ② 使用している
------------	-----------------------

<使用している人>

と 取り外し	① 自分でつけたり外したりする ② つけるか外すかのどちらかは 手伝ってもら ③ 自分ではできない
て 手 入 れ (自分以外でもかまいません)	① していない ② している

入れ歯を作った時に
治療・指導を受けた内容

(あてはまるものすべて)

- ① 受けていない ② かみかた ③
の飲み込みかた ④ 痛いところの調整
⑤ 発音のしかた ⑥ その他 ()

8. 日頃、口腔ケア(口の中の清掃管理など)の必要性を感じますか。

① 特に感じない	② やや感じる	③ たいへん感じる	④ わからない
----------	---------	-----------	---------

9. あなたの歯・口の病気の予防のために、希望するものは何ですか。(あてはまるものすべて)

① 特にない	⑥ 歯みがきなどの指導
② 病気に関する教育・相談	⑦ 噛むことの指導
③ 予防に関する教育・相談	⑧ 飲み込むことの指導
④ 歯科健診	⑨ しゃべることの(発音)指導
⑤ フッ素塗布	⑩ その他 ()

10. あなたには、かかりつけ歯科医(いつも決まってみてもら歯医者さん)がいますか。

① いない	② いる
-------	------

11. あなたが、「歯医者さん」に行くのは、どのような時ですか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|----------------|--------------------|
| ① 絶対行きたくない | ④ 歯の健康診査の結果で必要な時 |
| ② 症状(痛いなど)がある時 | ⑤ 定期的に点検(悪い所がなくても) |
| ③ かみ合わせが悪い時 | ⑥ その他() |

12. あなたは、どんな「歯医者さん」に診てもらいたいと思いますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| ① 近所にある | ⑦ 話(症状など)をよく聞いてくれる |
| ② 車いすで入れる | ⑧ 治療方法をよく説明してくれる |
| ③ 障害者用の診療台や設備が整っている | ⑨ 治療に自分の意見を聞き入れてくれる |
| ④ 必要があれば主治医(内科医師など)へ
連絡してくれる | ⑩ ゆっくり時間をかけて治療してくれる |
| ⑤ 救急時(体調の急変など)にすぐ対処でき
る | ⑪ 訪問治療をしてくれる |
| ⑥ 障害のことをよく理解している | ⑫ 評判がよい |
| | ⑬ 技術がよい |
| | ⑭ その他() |

13. 歯科治療を受けやすくなるのに役立つと思うものは何ですか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ① 特にない | ⑧ 親切でやさしい対応 |
| ② 障害者 | ⑨ 安心・安全な対応 |
| ③ 歯科に関する相談の窓口 | ⑩ 通院のための交通手段の改善 |
| ④ 障害者に対応できる歯科医院・病院の情報 | ⑪ 通院のつき添い |
| ⑤ 障害者に対応できる歯科医院・病院を増やす | ⑫ 訪問治療 |
| ⑥ 高度の専門的な医療機関への紹介 | ⑬ その他() |
| ⑦ バリアフリー化など、施設・設備の改善 | |
| ⑧ その人その人に合わせた柔軟な対応 | |

ご協きょうりょく力ありがとうございました。

表1-1 年齢

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
40歳未満	157	77.0	78.1
40歳以上	44	21.6	21.9
不明	3	1.5	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	201

表1-2 性別

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
男	112	54.9	55.7
女	89	43.6	44.3
不明	3	1.5	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	201

表1-3 住所地

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
岡山市	181	88.7	94.3
岡山市以外	11	5.4	5.7
不明	12	5.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	192

表1-4 記入者

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
本人	21	10.3	10.4
家族	173	84.8	86.1
その他	7	3.4	3.5
不明	3	1.5	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	201

表1-5 社会福祉施設などの利用

(MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
知的障害者施設に通所	96	47.1	48.2
知的障害者施設に入所	6	2.9	3
知的障害者ホーム	9	4.4	4.5
小規模作業所	44	21.6	22.1
利用していない	34	16.7	17.1
その他	19	9.3	9.5
不明	5	2.5	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	199

表1-6 障害の種類・身体

(MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
なし	93	45.6	64.6
視覚障害	5	2.5	3.5
聴覚障害・平衡機能障害	6	2.9	4.2
音声・言語・そしやく機能障害	30	14.7	20.8
肢体不自由	26	12.7	18.1
内部障害	2	1.0	1.4
不明	60	29.4	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	144

表1-7 障害の種類・知的

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
なし	1	0.5	0.5
あり	199	97.5	99.5
不明	4	2.0	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	200

表1-8 障害の種類・ダウン症

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
なし	104	51.0	75.9
あり	33	16.2	24.1
不明	67	32.8	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	137

表1-9 障害の種類・精神

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
なし	105	51.5	82.0
あり	23	11.3	18.0
不明	76	37.3	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	128

表1-10 てんかん(症状)

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
なし	111	54.4	74.5
あり	38	18.6	25.5
不明	55	27.0	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	149

表1-11 身体障害者手帳の等級

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1級	9	4.4	7.7
2級	11	5.4	9.4
3級	6	2.9	5.1
4級	4	2.0	3.4
5級	2	1.0	1.7
6級	1	0.5	0.9
持っていない	84	41.2	71.8
不明	87	42.6	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	117

表1-12 療育手帳

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
A	86	42.2	43.7
B	110	53.9	55.8
持っていない	1	0.5	0.5
不明	7	3.4	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	197

表1-13 歩行の自立

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
一人で可能	172	84.3	89.6
一部介助が必要	16	7.8	8.3
全面的な介助が必要	4	2.0	2.1
不明	12	5.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	192

表1-14 車いすの使用

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
使用している	10	4.9	5.8
使用していない	162	79.4	94.2
不明	32	15.7	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	172

表1-15 介護・日常生活面(基本的生活習慣)

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
常時全ての面で介助必要、生命維持も危ぶまれる	5	2.5	2.6
常時多くの面で介助必要	17	8.3	8.7
生活習慣の形成不十分、一部介助必要	45	22.1	23.1
生活習慣の形成不十分、見守り必要	63	30.9	32.3
生活習慣はほとんど形成されている	65	31.9	33.3
不明	9	4.4	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	195

表1-16 介護・保健面(身体的健康)

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
嚴重な看護必要(生命維持の危険)	2	1.0	1.0
常時、注意や看護必要(発作頻発傾向)	4	2.0	2.0
一時的または時々看護必要(発作時々、周期的精神変調)	18	8.8	9.2
常に、健康維持に対する配慮・支援必要	36	17.6	18.4
時々、健康維持に対する配慮・支援必要	87	42.6	44.4
ほとんど配慮を要しない	49	24.0	25.0
不明	8	3.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	196

表1-17 介護・行動面(多動、自他傷、拒食など)

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
常時付き添い注意が必要	6	2.9	3
常時注意が必要	23	11.3	11.6
時々指導したりすることが必要	42	20.6	21.2
多少注意する程度	56	27.5	28.3
ほとんど問題がない	71	34.8	35.9
不明	6	2.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	198

表1-18 歯や口の中の悩みや気になること

(MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
特にない(健康である)	58	28.4	30.4
歯の痛み、しみる(むし歯)	29	14.2	15.2
歯のぐらつき	9	4.4	4.7
歯ぐきから血が出る、はれる	36	17.6	18.8
物がはさまる	27	13.2	14.1
口臭(口の中のおい)	48	23.5	25.1
歯ならび	36	17.6	18.8
粘るような不快感	4	2.0	2.1
かみあわせ	19	9.3	9.9
口を開けると音がする(カクク・ゴリゴリ)	1	0.5	0.5
歯がない	10	4.9	5.2
口内炎・アフタ(口の中の傷)がよくできる	14	6.9	7.3
噛むのがむづかしい	9	4.4	4.7
飲み込むのがむづかしい	4	2.0	2.1
しゃべる(発音)のがむづかしい	22	10.8	11.5
その他	9	4.4	4.7
不明	13	6.4	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	191

表1-19 口の動きに支障

(MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
特にない	139	68.1	79.9
口が開きにくい	6	2.9	3.4
食べ物がかみにくい	9	4.4	5.2
食べ物などが飲み込みにくい	3	1.5	1.7
あごが痛い	1	0.5	0.6
発音がむづかしい	20	9.8	11.5
入れ歯が邪魔になる	0	0.0	0.0
その他	9	4.4	5.2
不明	30	14.7	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	174

表1-20 歯みがきの自立度

(SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
自分でみがく	145	71.1	73.2
部分的に自分でみがく	35	17.2	17.7
自分でみがけない	18	8.8	9.1
不明	6	2.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	198

表1-21 歯みがきの習慣 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
みがかない	1	0.5	0.5
ときどきみがく	24	11.8	12.4
毎日みがく	169	82.8	87.1
不明	10	4.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	194

表1-22 歯科治療の経験 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	6	2.9	3.0
ある	195	95.6	97.0
不明	3	1.5	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	201

表1-23 歯科治療の経験あり・この1年間 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	57	29.2	30.3
ある	131	67.2	69.7
不明	7	3.6	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	188

表1-24 歯科治療・内容 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
相談のみ	1	0.5	0.5
歯科健診	68	34.9	35.6
歯の清掃・歯石を取る	113	57.9	59.2
むし歯予防・進行止め処置(フッ素をぬるなど)	76	39.0	39.8
歯みがき指導	66	33.8	34.6
食べ方の訓練	1	0.5	0.5
飲み込み方の訓練	1	0.5	0.5
しゃべり方(発音)の訓練	0	0.0	0.0
救急処置(痛み止めなど)	12	6.2	6.3
むし歯の治療	131	67.2	68.6
歯ぐきの炎症(歯槽膿漏の治療など)	22	11.3	11.5
歯にかぶせもの・ブリッジ(橋渡し)	36	18.5	18.8
歯を抜く	31	15.9	16.2
入れ歯	16	8.2	8.4
歯ならび・かみあわせ	7	3.6	3.7
その他	4	2.1	2.1
わからない	0	0.0	0.0
不明	4	2.1	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	191

表1-25 歯科治療・通院/訪問 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
通院のみ	186	95.4	97.9
訪問のみ	2	1.0	1.1
通院と訪問	2	1.0	1.1
不明	5	2.6	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	190

表1-26 歯科治療・治療までの期間 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
当日	89	45.6	49.7
1週間以内	60	30.8	33.5
1週間くらい	13	6.7	7.3
2週間くらい	11	5.6	6.1
3週間くらい	2	1.0	1.1
1か月くらい	15	7.7	8.4
1か月以上	2	1.0	1.1
わからない	4	2.1	2.2
不明	16	8.2	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	179

表1-27 受診したことのある歯科医療機関 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
かかりつけ歯科医院	128	65.6	67.7
その時診てくれる歯科医院	24	12.3	12.7
市町村の口腔保健センター	0	0.0	0.0
公的な歯科診療施設・病院	8	4.1	4.2
障害者施設内の歯科診療施設	31	15.9	16.4
岡山大学歯学部附属病院	49	25.1	25.9
その他	4	2.1	2.1
不明	6	3.1	
サンプル数(%へ入)	195	100.0	189

表1-28 最もよく受診する歯科医療機関 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
かかりつけ歯科医院	89	45.6	68.5
その時診てくれる歯科医院	2	1.0	1.5
市町村の口腔保健センター	0	0.0	0.0
公的な歯科診療施設・病院	5	2.6	3.8
障害者施設内の歯科診療施設	10	5.1	7.7
岡山大学歯学部附属病院	24	12.3	18.5
その他	0	0.0	0.0
不明	65	33.3	
サンプル数(%へ入)	195	100.0	130

表1-29 所要時間・かかりつけ歯科医院 (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	70	35.9	56.5
20分以内	29	14.9	23.4
30分以内	18	9.2	14.5
30分超	7	3.6	5.6
不明	71	36.4	
サンプル数(%へ入)	195	100.0	124

表1-30 所要時間・その時診てくれる歯科医院 (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	11	5.6	61.1
20分以内	4	2.1	22.2
30分以内	3	1.5	16.7
30分超	0	0.0	0.0
不明	177	90.8	
サンプル数(%へ入)	195	100.0	18

表1-31 所要時間・市町村の口腔保健センター (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	0	0.0	-
20分以内	0	0.0	-
30分以内	0	0.0	-
30分超	0	0.0	-
不明	195	100.0	
サンプル数(%へ入)	195	100.0	0

表1-32 所要時間・公的な歯科診療施設・病院 (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	0	0.0	0.0
20分以内	3	1.5	42.9
30分以内	3	1.5	42.9
30分超	1	0.5	14.3
不明	188	96.4	
サンプル数(%へ入)	195	100.0	7

表1-33 所要時間・障害者施設内の歯科診療施設 (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	0	0.0	0.0
20分以内	2	1.0	8.7
30分以内	10	5.1	43.5
30分超	11	5.6	47.8
不明	172	88.2	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	23

表1-34 所要時間・岡山大学歯学部附属病院 (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	1	0.5	2.2
20分以内	13	6.7	28.9
30分以内	11	5.6	24.4
30分超	20	10.3	44.4
不明	150	76.9	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	45

表1-35 所要時間・その他 (数量)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
10分以内	1	0.5	25.0
20分以内	0	0.0	0.0
30分以内	3	1.5	75.0
30分超	0	0.0	0.0
不明	191	97.9	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	4

表1-36 治療の感想・治療内容 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
大変満足	75	38.5	40.5
やや満足	33	16.9	17.8
ふつう	70	35.9	37.8
やや不満足	5	2.6	2.7
不満足	2	1.0	1.1
不明	10	5.1	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	185

表1-37 治療の感想・治療に対する説明 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
大変満足	79	40.5	42.2
やや満足	33	16.9	17.6
ふつう	70	35.9	37.4
やや不満足	4	2.1	2.1
不満足	1	0.5	0.5
不明	8	4.1	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	187

表1-38 治療の感想・歯科医師、職員の対応 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
大変満足	83	42.6	44.9
やや満足	45	23.1	24.3
ふつう	51	26.2	27.6
やや不満足	4	2.1	2.2
不満足	2	1.0	1.1
不明	10	5.1	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	185

表1-39 治療の感想・施設の構造や設備 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
大変満足	45	23.1	25.3
やや満足	32	16.4	18.0
ふつう	91	46.7	51.1
やや不満足	8	4.1	4.5
不満足	2	1.0	1.1
不明	17	8.7	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	178

表1-40 治療の感想・治療を受けるまでの期間 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
大変満足	55	28.2	30.6
やや満足	42	21.5	23.3
ふつう	78	40.0	43.3
やや不満足	4	2.1	2.2
不満足	1	0.5	0.6
不明	15	7.7	
サンプル数(%ベース)	195	100.0	180

表1-41 歯の健康診査を受けた経験 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	38	18.6	19.2
ある	160	78.4	80.8
不明	6	2.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	198

表1-42 歯の健康診査の経験あり・この1年間 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	53	33.1	34.9
ある	99	61.9	65.1
不明	8	5.0	
サンプル数(%ベース)	160	100.0	152

表1-43 歯の健康診査の場所 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
歯科医院・病院の歯科	115	71.9	75.7
保健所・市町村保健センター等	3	1.9	2.0
学校など	33	20.6	21.7
通所施設	28	17.5	18.4
入所施設	4	2.5	2.6
自宅(訪問)	4	2.5	2.6
その他	6	3.8	3.9
不明	8	5.0	
サンプル数(%ベース)	160	100.0	152

表1-44 歯みがき指導を受けた経験 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	51	25.0	25.8
ある	147	72.1	74.2
不明	6	2.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	198

表1-45 歯みがき指導の経験あり・この1年間 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	51	34.7	37.8
ある	84	57.1	62.2
不明	12	8.2	
サンプル数(%ベース)	147	100.0	135

表1-46 歯みがき指導の場所 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
歯科医院・病院の歯科	104	70.7	74.3
保健所・市町村保健センター等	3	2.0	2.1
学校など	19	12.9	13.6
通所施設	26	17.7	18.6
入所施設	5	3.4	3.6
自宅(訪問)	3	2.0	2.1
その他	5	3.4	3.6
不明	7	4.8	
サンプル数(%ベース)	147	100.0	140

表1-47 咀嚼、嚥下、発音指導を受けた経験 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	160	78.4	87.0
ある	24	11.8	13.0
不明	20	9.8	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	184

表1-48 咀嚼、嚥下、発音指導の経験あり・この1年間 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
ない	12	50.0	57.1
ある	9	37.5	42.9
不明	3	12.5	
サンプル数(%ベース)	24	100.0	21

表1-49 咀嚼、嚥下、発音指導の場所 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
歯科医院・病院の歯科	10	41.7	43.5
保健所・市町村保健センター等	1	4.2	4.3
学校など	6	25.0	26.1
通所施設	5	20.8	21.7
入所施設	1	4.2	4.3
自宅(訪問)	1	4.2	4.3
その他	5	20.8	21.7
不明	1	4.2	
サンプル数(%ベース)	24	100.0	23

表1-50 咀嚼、嚥下、発音指導の場面(どのような時か) (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
虫歯の治療後	3	12.5	20.0
顎の痛み	1	4.2	6.7
歯ぐきの病気の治療後	2	8.3	13.3
入れ歯を作った時	4	16.7	26.7
顎の骨折の治療後	0	0.0	0.0
その他	7	29.2	46.7
不明	9	37.5	
サンプル数(%ベース)	24	100.0	15

表1-51 義歯の使用 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
使用していない	163	79.9	88.6
使用している	21	10.3	11.4
不明	20	9.8	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	184

表1-52 義歯使用者・取り外し (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
自分でついたり外したりする	20	95.2	95.2
つけるか外すかのどちらかは手伝ってもらう	0	0.0	0.0
自分ではできない	1	4.8	4.8
不明	0	0.0	
サンプル数(%ベース)	21	100.0	21

表1-53 義歯使用者・手入れ (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
していない	5	23.8	25.0
している	15	71.4	75.0
不明	1	4.8	
サンプル数(%ベース)	21	100.0	20

表1-54 義歯使用者・入れ歯を作ったときの治療・指導の内容 (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
受けていない	2	9.5	14.3
かみかた	4	19.0	28.6
飲み込みかた	1	4.8	7.1
痛いところの調整	12	57.1	85.7
発音のしかた	0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0
不明	7	33.3	
サンプル数(%ベース)	21	100.0	14

表1-55 口腔ケアの必要性 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
特に感じない	35	17.2	18.2
やや感じる	51	25.0	26.6
たいへん感じる	94	46.1	49.0
わからない	12	5.9	6.3
不明	12	5.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	192

表1-56 歯・口の病気予防のために希望するもの (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
特になし	31	15.2	16.4
病気に関する教育・相談	22	10.8	11.6
予防に関する教育・相談	33	16.2	17.5
歯科健診	120	58.8	63.5
フッ素塗布	44	21.6	23.3
歯みがきなどの指導	82	40.2	43.4
噛むことの指導	18	8.8	9.5
飲み込むことの指導	2	1.0	1.1
しゃべる(発音)ことの指導	15	7.4	7.9
その他	2	1.0	1.1
不明	15	7.4	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	189

表1-57 かかりつけ歯科医の有無 (SA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
いない	36	17.6	18.9
いる	154	75.5	81.1
不明	14	6.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	190

表1-58 「歯医者さん」に行くのは、どういう時か (MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
絶対行きたくない	4	2.0	2.1
症状(痛いなど)がある時	123	60.3	63.4
かみ合わせが悪い時	5	2.5	2.6
歯の健康診査の結果で必要な時	41	20.1	21.1
定期的に点検(悪い所がなくても)	87	42.6	44.8
その他	3	1.5	1.5
不明	10	4.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	194

表1-59 診てもらいたい「歯医者さん」

(MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
近所にある	118	57.8	60.2
車いすで入れる	5	2.5	2.6
障害者用の診療台や設備が整っている	35	17.2	17.9
必要があれば主治医へ連絡してくれる	29	14.2	14.8
救急時(体調の急変など)にすぐ対処できる	41	20.1	20.9
障害のことをよく理解している	153	75.0	78.1
話(症状など)をよく聞いてくれる	85	41.7	43.4
治療方法をよく説明してくれる	125	61.3	63.8
治療に自分の意見を聞き入れてくれる	44	21.6	22.4
ゆっくり時間をかけて治療してくれる	74	36.3	37.8
訪問治療をしてくれる	4	2.0	2.0
評判がよい	29	14.2	14.8
技術がよい	95	46.6	48.5
その他	7	3.4	3.6
不明	8	3.9	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	196

表1-60 歯科治療が受けやすくなるのに役立つもの

(MA)

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
特になし	8	3.9	4.1
障害者歯科に関する相談の窓口	63	30.9	32.0
障害者に対応できる歯科医院・病院の情報	95	46.6	48.2
障害者に対応できる歯科医院・病院を増やす	89	43.6	45.2
高度の専門的な医療機関への紹介	17	8.3	8.6
バリアフリー化など、施設・設備の改善	22	10.8	11.2
その人その人に合わせた柔軟な対応	101	49.5	51.3
親切でやさしい対応	145	71.1	73.6
安心・安全な対応	115	56.4	58.4
通院のための交通手段の改善	14	6.9	7.1
通院のつき添い	25	12.3	12.7
訪問治療	15	7.4	7.6
その他	2	1.0	1.0
不明	7	3.4	
サンプル数(%ベース)	204	100.0	197

厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業)

分担研究報告書

知的障害者（児）を中心とした地域歯科医療の現状と課題および将来展望

—地域歯科医療施設従事者へのアンケート調査—

分担研究者 武田則昭

川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科

研究協力者 川田久美

社会福祉法人旭川荘 情報支援本部

研究協力者 高德修一

社会福祉法人旭川荘 旭川荘南愛媛病院歯科

研究協力者 江草正彦

岡山大学医学部・歯学部附属病院 特殊歯科総合治療部

I はじめに

知的障害者の高齢化が進む中、我が国の医療福祉サービスは脱施設化の傾向にあり、益々、通所・訪問サービスの充実・拡大が図られ、知的障害のある人たちが可能な範囲で在宅や地域での生活を基本に人生設計をできるようにと、障害分類については ICIDH から ICF へと変わり、制度については措置から支援費、自己負担を含めた自立支援法へと様々な工夫や変革が見られている。

報告者は、今回 K 市における実地歯科医を中心とした知的障害者（児）の歯科診療に関してアンケート調査を実施し

たので、それらの結果を踏まえながら知的障害者（児）の地域歯科医療福祉の現状と課題および将来展望について検討したので報告する。

II 方法

O 県 K 市の歯科医師会センターで障害者の歯科診療等を行っている実地歯科医師 40 人に、平成 18 年 1 月に郵送法にて、以下の項目のアンケート用紙を送付し、無記名にて同月末までに返送、29 人から回答を得た（回収率 73%）。調査項目は、回答者の背景（性、年齢）、1. 知的障害者（児）の歯科診療の経験の有

無（単一回答）と歯科診療の人数（数量回答）、2. 診療を行ったうちでの内容や状況がわかりにくいと思う障害の種類（複数回答）、加えて、そのうち特に困難な障害（複数回答）、3. 歯科治療が取り組み難い障害（複数回答）、加えて、特に困難な障害（複数回答）、4. 知的障害者（児）で歯科診療上の困難点の有無（単一回答）、困難点の内容（患者側、術者側、環境整備面）（複数回答）、5. 知的障害者（児）に対する処置内容（複数回答）、6. 対応できない場合の知的障害者（児）への紹介システムの必要性の有無（単一回答）、7. 医院への車いす進入の可能性（単一回答）、8. 今後の知的障害者（児）の歯科診療への姿勢（単一回答）、9. 在宅知的障害（児）からの訪問歯科診療依頼があった場合の対応（単一回答）、10. 施設入所知的障害（児）からの訪問歯科診療依頼があった場合の対応（単一回答）、11. 知的障害者（児）への対応（単一回答）、12. 知的障害者（児）を歯科診療する歯科医または相談を引き受ける歯科医の登録制度（単一回答）、13. 制度があればどうするか（単一回答）、14. 知的障害者（児）の歯科診療協力医になった場合の対応（複数回答）、15. 知的障害者（児）の歯科診療協力医になった場合の情報公開への希望（単一回答）、16. 障害者歯科医療福祉分野の語句についての理解（複数回答）、17. 知的障害者（児）への歯科診療に関する研修会、講演会の希望の

有無（単一）、で構成した。なお、4. 歯科診療上の問題点、5. 知的障害者（児）に対する処置内容（複数回答）の「その他」、14. 知的障害者（児）の歯科診療協力医になった場合の対応（複数回答）の「その他」、17. 知的障害者（児）への歯科診療に関する研修会、講演会の希望の「内容」、18. 知的障害者（児）への歯科診療に関しての「意見」は自由記述方式で、表にまとめた。なお、回答者は、今回、全員男性 29 人と少ないため、年齢階層別の分析は行わず、単純集計のみとした。また、示した数字は不明、非該当を除いた人数（%）で示した。

Ⅲ結果と考察

回答者の背景では、全員男性歯科医師、年齢は 45-49 歳 8 人（27.6%）、50-54 歳 7 人（24.1%）、40-44 歳 5 人の順で、以下、35-39 歳、50-54 歳、30-34 歳、60-64 歳、65 歳以上であった。

（1）知的障害者（児）の歯科診療の経験の有無（単一回答）と歯科診療の人数（数量回答）

知的障害者（児）の治療経験があるものは 21 人（72.4%）であった。診療した経験人数は 2-3 人が 10 人（50%）と多く、10 人以上は 3 人（15%）であった。

（2）診療を行ったうちでの内容や状況がわかりにくいと思う障害の種類（複数回答）、加えて、そのうち特に困難な障害（複数回答）

知的障害が 11 人（52.4%）と一番多く、

内部障害、精神障害、複合障害、身体障害、聴覚障害、視覚障害の順であった。特に分かり難い障害は、複合障害 14 人 (82.4%)、知的障害 8 人 (47.1%) であった。

いずれにせよ、知的障害に対しては、治療経験豊富な人は比較的少なく、治療の困難性を予測している人が多いことが推測される。

(3) 歯科治療が取り組み難い障害 (複数回答)、加えて、特に困難な障害 (複数回答)

知的障害 14 人 (56.0%)、精神障害 14 人 (56.0%) で多く、以下、内部障害、複合障害、身体障害、聴覚障害、視覚障害の順であった。特に取り組みにくい障害は、複合障害 16 人 (84.2%)、精神障害 9 人、知的障害 7 人であった。

治療となると、全身疾患や合併症への配慮が特段に必要であるが、知的障害は、内部障害や精神障害に比較すると、その点で、幾分対処しやすいと考えていることが推測される。

(4) 知的障害者 (児) で歯科診療上の困難点の有無 (単一回答)、困難点の内容 (患者側、術者側、環境整備面) (複数回答)

ありとするものが 24 人 (82.8%) で、ほとんどのものが困難と考えている。困難な点 (患者側) は、「患者の拒否行動による診療への導入」15 人 (65.2%)、「患者とのコミュニケーション」14 人 (60.9%) が多く、以下、「患者の全身管

理」、「救急体制の問題」、「患者の体動の抑制」の順であった。問題点 (術者側) は、「医療過誤が不安」12 人 (60%)、「術者の負担が大きい」12 人 (60%) で多く、以下、「障害者に対する知識不足」、「障害者治療の経験不足」の順で、「高齢のため」1 人であった。歯科診療上の問題点 (環境整備面) は、「機材や設備が不十分」12 人 (54.5%)、「時間の余裕がない」11 人 (50%) で多く、以下、「マンパワーの不足」、「採算が合わない」の順で、「他の患者さんの迷惑になる」2 人であった。

以上のことから、知的障害者の地域での診療状況を改善するには、知的障害の専門的な知識、技術を研修すること、また、設備投資や人材の育成に見合う知的障害加算等の医療保険上の配慮、見直し等が今後必要と考えられる。

(5) 知的障害者 (児) に対する処置内容 (複数回答)

「主訴以外の疾患も治療する」15 人 (51.7%)、「疾患がなくても、歯科健診、歯科保健指導で管理する」12 人 (41.4%) で多く、以下、「主訴の疾患のみを治療する」、「他の医療機関を紹介する」、「応急処置まで」、「必要な人には摂食・嚥下訓練をする」の順であった。なお、「相談まで」は 0 人であった。

(6) 対応できない場合の知的障害者 (児) への紹介システムの必要性の有無 (単一回答)

全員が「必要である」としていた。

これからは、知的障害者（児）に対して、
実地歯科医が個々に対応するのではなく、
病・病、病・診連携で対応すべきと考え
ており、その実施マニュアルとその後方
支援として、中核都市には3次医療圏の
レベルで専門的な障害者歯科センターや
医療機関が必要と思われる。

（7） 医院への車いす進入の可能性（単
一回答）

「入れる」は15人（51.7%）で、「将来的
には考えたい」7人、「将来的にも考え
ない」7人であった。

建築、立地上検討の課題もあろうが、全
員が車いす対応を考えるように指導する
必要があると思われる。

（8） 今後の知的障害者（児）の歯科診
療への姿勢（単一回答）

「要望があれば行いたい」21人（72.4%）
で、以下、「できれば行いたくない」4人、
「積極的に行いたい」4人であった。

（9） 在宅知的障害（児）からの訪問歯
科診療依頼があった場合の対応（単一回
答）

「障害の程度や治療の内容によって引き
受ける」22人（75.9%）で、以下、「と
りあえずすべて引き受ける」7人であっ
た。「断る」はいなかった。

（10） 施設入所知的障害（児）からの訪
問歯科診療依頼があった場合の対応（単
一回答）

「障害の程度や治療の内容によって引き
受ける」20人（69.0%）で、以下、「と
りあえずすべて引き受ける」7人であっ

た。なお、「断る」は2人いた。

（11） 知的障害者（児）への対応（単一
回答）

「抑制器具や介助なしで治療できる場合
にのみ引き受けることができる」16人
（57.1%）で多く、以下、「1～2回の抑
制器具や介助が必要であるが、その後は
通常の治療ができる場合に引き受けるこ
とができる」、「毎回、抑制器具や介助が
必要な場合でも引き受けることができ
る」の順で、「抑制器具や介助なしで治
療ができる場合のみ引き受けることがで
きる」、「静脈内鎮静法、笑気鎮静法での
治療が必要な場合でも引き受けることが
できる」、「全身麻酔科での治療が必要な
場合でも引き受けることができる」はい
なかった。

多くの実地歯科医については、自診療所
で全身麻酔を応用することは考えていな
いことが推測された。

（12） 知的障害者（児）を歯科診療する
歯科医または相談を引き受ける歯科医の
登録制度（単一回答）

「両制度とも必要」11人（37.9%）、「歯
科診療に協力する歯科医の制度のみ必
要」10人（34.5%）で多く、以下、「わ
からない」、「相談を受ける歯科医の制度
のみ必要」、「どちらの制度も必要ない」
の順であった。なお、制度が必要なしと
したものは2人で極めて少なかった。

（13） 制度があればどうするか（単一回
答）

「両制度の歯科医になってもよい」13人

(44.8%)で多く、以下、「わからない」、「相談を受ける歯科医のみになってよい」、「どちらにもならない」の順であった。なお、「どちらににならない」は2人と極めて少なかった。

(14) 知的障害者(児)の歯科診療協力医になった場合の対応(複数回答)

「貴医院の診察室での歯科診療」21人(75.0%)で多く、以下、「施設訪問歯科健診」、「在宅訪問歯科診療」、「施設訪問歯科診療」、「在宅訪問歯科健診」、「その他」の順であった。

(15) 知的障害者(児)の歯科診療協力医になった場合の情報公開への希望(単一回答)

「はい」と「いいえ」は半々であった。

(16) 障害者歯科医療福祉分野の語句についての理解(複数回答)

「バリアフリー」29人(100%)、「デイサービス」29人(100%)で多く、以下、「ショートステイ」、「介護福祉士」、「ケアハウス」、「ソーシャルワーカー」、「グループホーム」の順で、「育成医療」、「セルフアドボカシー」は低く、本年度になって制度化された障害者自立支援法については18人(62.1%)のものがその意味がわかるとしていた。

「介護福祉士」25人(86.2%)、

(17) 知的障害者(児)への歯科診療に関する研修会、講演会の希望の有無(単一

「はい」21人(77.8%)であった。

(18) 自由記述

a. 歯科診療上の問題点

「知的障害があり、大人であれば貧しいので自己負担が気の毒」との意見があった。

b. 知的障害者(児)に対する処置内容(複数回答)の「その他」

「患者の状態が理解力に応じて」の意見があった。

c. 知的障害者(児)の歯科診療協力医になった場合の対応(複数回答)の「その他」

「自分の実力の範囲であれば上記のうちできる事は全てします。…患者さんの状態により変わります。」、「患児(者)の障害程度により、できること(効果のあること)は異なると思います。」、「自分の技量に限界がある以上、上記医になったからといって、それ以上の仕事は不可能と考える。したがって、そうした制度自体に、きちんとした設定を設けて欲しい。」等の意見があった。

d. 知的障害者(児)への歯科診療に関する研修会、講演会の希望の「内容」

「倉敷口腔衛生センターでの治療がスムーズに行える役に立つ程度のことまで。」、「障害の病態別の診療への取り組み等」、「全身麻酔管理術」、「自閉症患者のティーチプログラム etc.」、「知的障害者への歯科治療において、開業医レベルで最低行うべき目安があれば、それを修得すべき研修会。」、「歯科治療における注意点等」、「治療上の対応の仕方につ

いて等。」、「他センターにおける対応の実際。TEACCH の実際の紹介など。」の意見があった。

e. 知的障害者（児）への歯科診療に関する「意見」

「養護学校の校医をやっています。積極的に歯科治療を受けている生徒もいますが、放置されている生徒もいます。来院する者だけを診療するのでは、恵まれない家庭の者がかわいそうだと思います。彼らは自分の意志で歯科へ行くとは言わないのですから。」、「程度も性格も色々でなかなか難しい。」、「倉敷はセンターがありここで対応されているが、更に高度な治療は大学病院に紹介されるので、体制的には地域として、合格点はつけられると思う。これに、登録医制があれば、大変すばらしいと思うが…。」、「どれくらいのニーズがあるかが分かりません。やはり、地域で開業しているので、まずは自分の地元で必要があるかということが知りたいです。どうしても地域医療優先になってしまう気がします。」、

「倉敷市の場合、センターでの障害者歯科を広くアピールして充実させることが重要。」、「患者からの求めであれば、治療を断る理由がありませんが、行政の対応として、保険点数の引上げなどそれ相応の対応を検討して欲しいです。」、

「我々がもっと TEACCH etc. に関しての知識を高め、担当が変わっても同じ方向を向いた診療ができる様に、またトレーニングの成果が上がれば開業医でメン

テナンスができる様になれば良いと思います。」、「大切なのは、まず愛だと思います。（マニュアルや色々な制度の以前にある問題ですが）」、「60 才までならがんばれるが、それ以後は辞退したい。」の意見があった。

IV まとめ

国際的に見ても、我が国における知的障害者に関する歯科治療は技術面、研究面、人材育成において先進的であり、積極性も見られ、総合的なレベルは高いといえる。しかしながら、社会システム、プログラムの整備となると、地域性が強く、内容はバラバラで統一感がない状況にある。また、アンケートの結果から地域の実地歯科医の取り組みへの意欲は、十分ではないが、かなり期待できる状況にあるといえる。また、知的障害者歯科医療の難治症例に、安全第一、インフォームドコンセント・チョイスを大前提にして、日帰りの全身麻酔法、特に、静脈内鎮静法を応用することは今後の課題といえる。

今後は、障害者歯科医療全般について、地域の特性は生かしつつも、一定レベルで規格化したシステムやプログラムが用意されるべきであろう。

将来展望としては、知的障害者分野において今後、益々脱施設化は進み、知的障害者の地域生活は推進されると思われるが、全身麻酔も加味した専門的障害者医療も含め、一次障害者歯科医療、二